



榜花閣。1892(明治25)年の再建



滴翠軒から見る鑑池亭。いずれも1884(明治17)年落成



秋の浸雪橋



雪の回棹廊



大書院・閣風亭から東山をのぞむ

回遊式庭園をもつ東本願寺(真宗本廟)の飛地境内地(別邸)。一六四一(寛永一八年)に三代將軍・徳川家光から当地(約一万坪)が寄進され、石川丈山の趣向を入れた作庭がなされた。園内の諸殿は一八五八(安政五)年、一八六四(元治元)年の二度にわたって焼失。現在の建物は明治初期から末年ごろに至る間に順次再建されたものである。庭園には四季折々の花が咲きほこり、変化に富んだ景観は「十三勝」や「十景」と称されて、高い評価がなされている。

涉成園 (枳殻邸)



印月池と漱枕居



龜石井戸